



説教	招きに応じて進む	阿部 祐之	1
教会の課題	九州中会の福音宣教のビジョン - 神様を信じて祈る -	稲葉 一	2
旧約聖書に聴く	現代に何を語るか ダニエル書 (5)	古賀 清敬	3
信仰問答を学ぶ	歴史の中の信仰問答 (4)	渡辺 信夫	4
教会、この地とともに	⑩ 札幌白石教会 使命に生きる歩みを	佐藤香一郎	5
三浦綾子の生涯と作品について	(4) 愛の証しの文学 「愛するか？」	森下 辰衛	6
定期中会報告	向きを変えて出発せよ	北海道中会	7
	再出発の恵み	東京中会	7
	「後ろ向きではなく」を合言葉に	近畿中会	8
	十年ぶりの大分での中会	九州中会	8

招きに応じて進む

イエスはなおも先へ行こうとされる様子だった。

(ルカによる福音書24章28節)

あ べ ひろ ゆき
阿 部 祐 之

イエスの復活を伝える女性たちの証言を信じられず、イエスの十字架の死に留まったままエマオへと歩く弟子たちのところへ、イエスはやってこられました。そして彼らに聖書を解き明かされます。

一行はエマオに近づきました。しかし、イエスはなおも先へ進み行かれる様子でした。そこで、二人はイエスを引き止めます。イエスは、彼らと共に家に入られました。

一緒に食卓につかれたとき、パンを取り、祝福して割き、彼らに渡しておられるうちに、彼らの目が開けて、自分たちと一緒にいるのがイエスであることが分かりました。

二人は、イエスご自身から聖書の説き明かしを受け、イエスご自身から命の恵みを受けたときに、信仰の目が開かれ、自分たちと一緒におられるのが復活されたイエスであることに気づきました。

わたしたちの礼拝も、説教と聖礼典（洗礼と聖晩餐）とが核となって形成されているのは、この出来事と関連があるのだらうと思います。

ところで、二人がイエスだと分かると同時に、その姿が見えなくなっていました。なぜでしょうか。

28節に「先へ行こうとされた」という言葉が出てきます。ルカはこの言葉をよく使います。

二人にとってイエスと出会い、イエスの復活を信じたことがゴールではないのです。イエスは二人に

先立って進み、神の国へ至る道を歩ませようとしておられます。

復活のイエスに出会って「ああイエス様だ」と喜び、そこに留まるのではなく、イエスの復活を信じた信仰と喜びをもって進み行くのです。

わたしたちは、神の国を目指してイエスに従い、先へと進み行くように招かれているのです。

イエスはわたしたちを罪から救うために来られました。救いとは、神と共に生きることです。神はわたしたち一人ひとりに歩むべき道を備え、導いておられます。

わたしたち一人ひとりの人生には道が開かれています。その道は死を超えて、神の国にまで至ります。わたしたちは、キリストと共に進み行くのです。キリストの救いに与った喜び、キリストと共にある喜びをもって進み行くのです。

このキリストと共に生きることこそ証しなのです。

だから使徒たち、^よ代々の^よ聖徒たちと共に、わたしたちも救いの御業を喜び、御名を^た讃えつつ、イエス・キリストを証しします。主が生きておられること、今もわたしたちを導いてくださることを証していきます。

神を証しするのは、神と共に生きる神の民に託された大切な務めなのですから。

(池田教会牧師)